

インフルエンザ流行発生注意報が発令されています。

手洗いやうがいなど、日ごろから感染予防を心がけましょう。

ようやく、気温が高くなり雪解けが進み、排雪作業も終わりが見えてきた時期になりましたが、又、気温が下がり、雪が降るということを繰り返す状態です。

まだまだ春を迎えるには、もう一山超えないと安心できないようです。気温の乱高下により体調の管理が難しい中、小学校を中心にインフルエンザが流行っているようです。年度末、年度初めの忙しい時期を迎えます。今一度、新型コロナウイルス感染症の対策を思い出し、健康管理に気を付けてください。

厚生労働省で発表されている感染対策を改めて抜粋してお知らせします。

新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染対策（飛沫感染対策、エアロゾル感染対策、接触感染対策）は、インフルエンザ対策（飛沫感染対策、接触感染対策）としても有効です。

基本的感染対策	考え方
マスクの着用	一定の場合にはマスク着用を推奨（下記参照）
手洗い等の手指消毒・衛生換気	新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として有効
「人と人との距離の確保」等	流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

<マスクの着用が効果的な場面>

- ・ 高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。
- ・ そのほか、COVID-19やインフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

[留意事項]

- ・ マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありませんが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。ただし、障害特性等により、マスク等の着用が困難な場合には、個別の事情に鑑み、差別等が生じないよう十分配慮をお願いします。

<症状がある場合>

咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「咳エチケット」を心がけることが重要です。

- 咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。

ごみステーションへの排出方法にはいろいろなルールがあります。少しでも安全、快適に過ごすためには皆さんの協力が必要です。

すでにご存じかもしれませんが、今回は筒形乾電池の出し方をお知らせします。もう一度、ご確認ください。特に注意事項はご確認ください。

筒型乾電池の出し方（令和3年10月施行時告知文書抜粋）



筒型乾電池を出す日が週1回に変わります

変更前 燃やせないごみステーションに透明・半透明の袋に入れて別袋に入れて出す

変更後 令和3年10月から びん・缶・ペットボトルの日に透明・半透明の袋に入れて出す

筒型乾電池

筒型乾電池をびん・缶・ペットボトルと同じ袋に絶対に入れないで

出す日・方法
びん・缶・ペットボトルの日（週1回）
びん・缶・ペットボトルの袋とは別の透明または半透明の袋に入れて、ごみステーションに出す（無料）

注意事項

- 火災の原因となりますので、びん・缶・ペットボトルと同じ袋に絶対に入れないでください
- 電極をセロハンテープなどで絶縁して出してください
- 筒型乾電池以外のコイン電池、ボタン電池、充電式電池（ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池）を入れないでください